

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2026
JANUARY &
MARCH

Special
Concert

Sat. 10th January

No. 104

Sat. 14th March
Kawasaki Subscription Concert

No. 738

Sat. 28th March
Subscription Concert

No. 145

Sun. 29th March
Niigata Subscription Concert

1
&
3



Jonathan Nott, Music Director



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督 ジョナサン・ノット
 桂冠指揮者 ユベール・スターン
 正指揮者 原田慶太楼
 名誉客演指揮者 大友直人
 永久名誉音楽監督 秋山和慶 ◆
 永久名誉指揮者 アルヴィド・ヤンソンス ◆
 上田 仁 ◆
 遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

第1コンサートマスター 小川ニキティンブレブ
 景山昌太郎
 小林杏成

コンサートマスター 田尻 順
 吉江美桜*

会長 澤田秀雄
 理事長 岡崎哲也
 副理事長 平澤 創
 専務理事 依田 巽
 理事 阿部武彦 永山 治
 池辺晋一郎 夏野 剛
 伊藤美樹 南部靖之
 大橋 博 福川伸次
 コシノジュン 増岡聡一郎
 菅谷貴子 森 京子
 竹中平蔵

監 事 寺西基之
 渡邊芳樹

評議員長 梅沢一彦
 評議員 穴水 孝 金山茂人
 鷗海暉明 星 久人
 片山泰輔 芳野まい
 加藤英輔

最高顧問 金山茂人
 特別顧問 飯島延浩 福田紀彦
 窪田雅己

【ハーブ寄贈：環境ステーション株式会社】

1st Violins

○木村正貴
 ○堀内幸子
 ○森岡ゆりあ
 小川敦子
 立岡百合恵
 土屋杏子
 中村楓子
 水谷有里
 吉川万理
 吉田みのり*

2nd Violins

◎清水泰明
 ◎服部亜矢子
 ○加藤まな
 ○福留史純
 河裾あずさ
 小山あずさ
 鈴木浩司
 辻田薫り
 阿部真弓
 坂井みどり

Violas

◎青木篤子
 ◎武生直子
 ◎西村真紀
 ○多井千洋
 ○山廣みほ
 新井瑞穂
 小西応興
 鈴木まり奈

Cellos

☆伊藤文嗣
 ○川井真由美
 内山剛博
 磐江慶行 ●
 樋口泰世
 福岡茉莉子
 渡邊ゆかり

Double Basses

◎助川 龍
 ◎コーデイ・ローズブーム
 ○北村一平
 ○久松ちず
 安田修平
 渡邊淳子
 内岡沙月*

Flutes

◎相澤政宏
 ◎竹山 愛

Flute & Piccolo

濱崎麻里子

Oboes

◎荒 絵理子
 ◎荒木良太
 浦脇健太

Oboe & English horn

最上峰行

Clarinets

◎エマニュエル・ヌヴー
 ◎吉野亜希菜
 近藤千花子
 務川広貴*

Bassoons

◎福士マリ子
 ◎福井 蔵
 坂井由佳
 前関祐紀

Horns

◎上間善之
 白井有琳
 藤田麻理絵

Trumpets

◎澤田真人
 ◎ローリー・ディラン
 野沢岳史 ●
 松山 萌

Trombones

◎大馬直人
 ◎鳥塚心輔
 住川佳祐

Bass Trombone

藤井良太

Tuba

近藤陽一

Timpani & Percussions

◎清水 太
 ◎山村雄大
 武山芳史
 綱川淳美

Harp

渡辺沙羅

Librarians

林 知也
 加藤幸子

Stage Managers

西岡理佐
 山本 聡

楽団委員

井伊 準 ◆

楽団長

廣岡克隆

編成局シニアディレクター

藤原 真

編成局パーソネルマネージャー

謝名元 民

楽団委員

小西応興(議長)
 浦脇健太(書記)
 清水 太
 鈴木浩司
 綱川淳美
 最上峰行

事務局

□高瀬 緑
 市川萌都
 伊藤瑛海
 榎 日向
 小川博司
 相原美砂
 長久保宏太郎
 三橋真琴
 山田道子
 □梶川純子
 藤山保子*
 山本未央子*

名誉団友

深江泰輔 ◆
 三木鶏雄 ◆

団 友

天野佳和 篠崎 隆
 安藤史子 菅野明彦
 池田 肇 杉浦直基
 石川晴依世 鈴木一輝
 今村和弘 曾根敦之
 岩澤淳子 高野成之
 上原規照 武田英昭
 上原未莉 田中真輔
 内田彩雄 千村雅信
 内田乃則子 十亀正司
 宇都 実 豊山 信
 梅田 学 永井聖乃
 大隅雅人 中塚和良
 大塚正昭 中塚博則
 大塚展男 中山 智
 新澤義美 新澤義美
 大和田ルース 西依智子
 小川さえ子 西脇秀治
 秋野 昇 野村真澄
 奥田昌史 馬場隆弘
 百川健二 原田美保子
 加藤谷直美 日野 奏
 笠原勝二 ペンテン・
 甲藤さち ポーマン
 加藤信吾 前田健一郎
 金澤 茂 松崎里絵
 久保田一穂 丸山正昭
 熊谷仁士 三浦正信
 黄原亮司 宮原祐子
 小林照雄 宮本直樹
 小林利彰 宮本 睦
 小林亮子 森みさ子
 阪本正彦 諸橋健久
 佐川聖二 渡辺 功
 佐々木真 渡辺哲郎
 塩谷しずか 塩谷裕子

☆ソロ首席奏者 □客演首席奏者 ◎首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター
 □部長 □シニアディレクター * 研究員・準事務局員 ◆ 故人

2026年1月現在

演奏会でのお願い

Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出している鑑賞や、つばの広い/高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



演奏中の飲食は ご遠慮ください

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご注意ください。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえます

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただけますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン、携帯電話、コンパクトデジタルカメラ以外の撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

1/10 SAT.

特別演奏会「ニューイヤーコンサート2026」

2026年1月10日(土) 14:00 サントリーホール

Special Concert "New Year Concert 2026"

Sat. 10th January 2026, 14:00 Suntory Hall

ユベール・スダーン[指揮]
 小山実稚恵[ピアノ]
 景山昌太郎[コンサートマスター]

Hubert SOUDANT, Conductor
 KOYAMA Michie, Piano
 KAGEYAMA Shotaro, Concertmaster

ウェーバー: 歌劇「魔弾の射手」から序曲(10')

WEBER: Opera "Der Freischütz"
 Overture (10')

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番
 ハ短調 op.18(35')

RACHMANINOFF: Piano Concerto No. 2
 in C minor op.18(35')

I. モデラート
 II. アダージョ・ソステヌート
 III. アレグロ・スケルツァンド

I. Moderato
 II. Adagio sostenuto
 III. Allegro scherzando

休憩(20')

Intermission(20')

ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調
 op.95「新世界より」(45')

DVOŘÁK: Symphony No.9 in E minor
 op. 95 "From the New World" (45')

I. アダージョ - アレグロ・モルト
 II. ラルゴ
 III. スケルツォ: モルト・ヴィヴァーチェ
 IV. アレグロ・コン・フォーコ

I. Adagio - Allegro molto
 II. Largo
 III. Scherzo: Molto vivace
 IV. Allegro con fuoco

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 特別協賛/株式会社イノアックコーポレーション

当初本公演への出演を発表していた、東京交響楽団永久名誉音楽監督 秋山和慶氏は、2025年1月に逝去されました。
 深く哀悼の意を捧げます。

※当初の予定より、曲目が変更となりました。

楽曲解説はP.6をご覧ください

Innovation & Action
INOAC



アンケート
 ご協力をお願いします

1/10 SAT.



©N. Ikegami

Hubert SOUDANT

Conductor

ユベール・スダーン
[指揮]

Conductor Laureate
桂冠指揮者

東京交響楽団桂冠指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢の名誉アーティストティック・アドバイザーを務めるユベール・スダーンは、1946年、オランダ・マーストリヒト生まれ。ブザンソン国際指揮者コンクール最高位、カラヤン国際指揮者コンクール第2位などに輝き、フランス国立放送フィル、ザルツブルク・モーツァルテウム管の首席指揮者、東京交響楽団音楽監督等を歴任。ベルリン・フィル、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、ミラノ・スカラ座管、ローマ・サンタ・チェチーリア管など主要なオーケストラと共演し、オペラの分野でもパリ、パルマ、パレルモ、ポローニャなどのオペラハウスで精力的に活動を展開。2004年7月、ザルツブルク市名誉市民およびオーストリア・ザルツブルク州ゴールドデン勲章を授与された。

近年は、大阪フィル、兵庫芸術文化センター管、札幌響、愛知室内をはじめとする日本各地のオーケストラから招かれている。

Born in the Netherlands, Hubert Soudant launched his international career after winning the highest award at the Besançon International Conducting Competition, second prize at the Karajan International Conducting Competition, and first prize at the Guido Cantelli International Competition. He has since been invited to conduct leading orchestras such as the Berlin Philharmonic, London Symphony, Vienna Symphony, Munich Philharmonic, La Scala Philharmonic in Milan, Teatro dell'Opera di Roma, and Teatro La Fenice in Venice. Following his tenure as Music Director of the Orchestre Philharmonique de Radio France, he served for 13 years as Music Director of the Mozarteum Orchestra of Salzburg. In July 2004, he was awarded honorary citizenship of the City of Salzburg and the Golden Decoration of the State of Salzburg, Austria. From September 2004, he served as Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra for ten years and currently holds the title of Conductor Laureate. Since September 2022, he has been Honorary Artistic Adviser of the Orchestra Ensemble Kanazawa.



©Hideki Otsuka

KOYAMA Michie

Piano

小山実稚恵
【ピアノ】

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキーコンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、多くの演奏会でソリストとして指名されている。

「12年間・24回リサイタルシリーズ」や「ベートーヴェン、そして...」が、その演奏と企画性で高く評価された。22年からはサントリーホール・シリーズ、第1シーズンConcerto<以心伝心>を25年まで開催。26年はサントリーホール開館40周年を記念したリサイタルシリーズを予定している。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなど、国際音楽コンクールの審査員も務める。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を毎年開催。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結びこれまでに34枚をリリース。最新作は、2025年10月発売の「Album」。著書に『点と魂と』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』（全2巻）がある。

17年紫綬褒章受章。

Michie Koyama is the only Japanese pianist who has won prizes at both Tchaikovsky and Chopin competitions. She has performed with numerous prestigious orchestras such as Montreal Symphony Orchestra, BBC Symphony, Berlin Symphony Orchestra, Tchaikovsky Symphony Orchestra of Moscow, Warsaw Philharmonic, among many others. Most recent project called "Beethoven (and then some)" in six major cities was highly acclaimed by not only her performance but also her programing. Suntory Hall Concert series "Ishin Denshin" from 2025 to 2025 has concluded with great success. She will present a recital series in 2026 celebrating the 40th anniversary of Suntory Hall. Since the Great East Japan Earthquake in 2011, Koyama continues to visit schools and public facilities in the affected areas to give performances. Furthermore in Sendai where she had grown up she started a project for children entitled "Bolero" in 2015. Michie Koyama has been an exclusive recording artist With Sony Classical and released 34 CDs. Two discs of Beethoven's latest sonatas and "Album" have been released recently, which went on to receive a number of the awards. The prizes include Grand Prize of the Agency for Cultural Affairs National Arts Festival (2005), award from the Ministry of education in Art Encouragement Prizes (2016), and Medal of Honor with Purple Ribbon (2017).

1/10 SAT.

カール・マリア・フォン・ウェーバー(1786~1826)

歌劇「魔弾の射手」から序曲

ドイツ語で書かれたテキストを基としたオペラ、いわゆる「ドイツ・オペラ」の地位を固めたと言われるのが、1821年にプロイセン王国の首都ベルリンで初演された『魔弾の射手』である。作曲者は、カール・マリア・フォン・ウェーバー(1786~1826)。生前の彼は作曲活動と並び指揮者としても活躍しており、当時はザクセン王国の都ドレスデンの宮廷劇場で指揮者を務め、ドイツ・オペラの普及に大きな役割を果たしていた。

そんな彼に、ベルリンに新たにできる王立劇場のこけら落としに向けて、新作オペラ上演の話が舞い込む。当時ウェーバーは、かねてから興味を抱いていたドイツの民話を基とした怪談集の中に出ていたエピソード(悪魔に操られた魔法の弾丸の話)に基づいたオペラを作っている最中であり、それが最終的には『魔弾の射手』として結実することとなった。

なお当時のドイツでは中世以来の政治形態のままに様々な国が並び立っている中で、ドイツ統一への機運が高まりつつあった。こうしたことから、この作品は「ドイツ国民オペラの代表作」とも呼ばれるようになってゆく。

オペラの舞台は、長い戦争で荒廃した17世紀半ばのボヘミアの森。若い猟師マックスが恋人のアガーテを失いたくないばかりに、同僚の猟師にそそのかされ、悪魔の息のかかった魔法の弾丸を使って射撃大会に臨むというストーリーだ。あわや悪魔の力が勝ってマックスもアガーテも破滅という瞬間、奇跡が起きて2人は助かり、悪魔の力を頼んだマックスの追放も許される。

このような内容をオペラに先立って示すのが、当序曲である。序奏部では荘重な雰囲気の中、後に讃美歌にも転用された美しい旋律が、ホルンの四重奏によって現れる(ホルンは狩人の楽器として、「森」を象徴する存在だった)。第1主題は、悪魔の住む魔境「狼谷」を表す恐怖の音楽。それを断ち切るかのように、アガーテがマックスを想う愛の歌の旋律に基づいた喜ばしい第2主題になる。その後、これらの主題が交互に出現して変容を遂げた後、再び不吉な楽想が現れ、全ては静まりかえる…。

だが、オーケストラが総出で輝かしい和音を鳴らし、序曲は終結部に入る。アガーテの愛の歌も活力に溢れて出現し、オペラのハッピーエンドを物語るかのように大団円が訪れる。

小宮正安 Text by KOMIYA Masayasu

作曲: 1817~1820年

初演: 1821年プロイセン王国(首都ベルリン)

編成: フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部

セルゲイ・ラフマニノフ(1873~1943)

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

セルゲイ・ラフマニノフは、ロシア帝国ノヴゴロド州の古都スターラヤ・ルッサで生まれた。初めはサンクトペテルブルク音楽院に入学したが、モスクワに移り、著名な教師N.ズヴェーレフの下で学ぶ。モスクワ音楽院に転入し、卒業時には通常のコメダルよりも更に上の大金メダルを授与された。卒業制作のオペラ『アレコ』がボリショイ劇場で上演されるなど、前途洋々に見えた。しかし1897年、『交響曲第1番』の初演が大失敗する、という有名な事件が起きる。指揮をしたA.グズノフが酩酊していたというまことしやかな話もあるが、本当の理由をはっきりしない。いずれにせよ、若きラフマニノフは精神的に大きな打撃を受けて、うつ状態に陥ってしまう。そこで催眠療法医N.ダーリの治療によって復活する、というもう一つの「伝説」が長い間、信じられて来た。確かにダーリの治療を受けていたし、『ピアノ協奏曲第2番』はダーリに献呈されている。だが話はそんなに単純ではない。この間、ラフマニノフは従姉妹の所領で静養したり、裕福な実業家S.マーモントフが率いた私立のオペラ団で第二指揮者を務めたりしている。ここで大歌手F.シャリャーピンと知り合い、生涯に渡る友情を結ぶ。こうして次第に立ち直って行ったのである。生前のラフマニノフは作曲家としてだけではなく、大変優れた指揮者、そしてピアニストとしても有名だった。『ピアノ協奏曲第2番』はラフマニノフ自身がピアノを弾いて、1901年に全楽章が初演され大きな成功を収めた。

第1楽章 モデラート

冒頭のピアノ独奏によるゆっくりとした和音連打は、ロシア正教会の鐘の音を表している。オーケストラが雄大な第一主題を奏で、ピアノは抒情的な第二主題を聞かせる。ピアノの装飾的な音型は小さな鐘の音に聞こえる。

第2楽章 アダージョ・ソステヌート

弦楽器と管楽器による序奏から招かれる、ピアノ独奏の伴奏的音型のアルペジオは、約十年前に作曲された『六手のためのロマンス』から採られている。フルートから渡されるクラリネットの独奏は、遠いロシアの田舎の情景を思わせる。

第3楽章 アレグロ・スケルツァンド

オーケストラが奏でる東洋風の旋律に、超絶技巧的なピアノの華麗なパッセージが絡み合い、圧巻のフィニッシュを迎える。

平野恵美子 Text by HIRANO Emiko

作曲：1900~1901年

初演：1901年11月9日(ロシア歴10月27日)於モスクワ・フィルハーモニー協会、アレクサンドル・ジロティ(指揮)セルゲイ・ラフマニノフ(ピアノ)

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、大太鼓、シンバル、弦5部

1/10 SAT.

アントニン・ドヴォルザーク(1841~1904)

交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

交響曲第9番《新世界より》は、アントニン・ドヴォルザークがナショナル音楽院(私立学校)の院長としてアメリカで活動し始めた頃にニューヨークで作曲された。

この交響曲では、ベートーヴェンやブラームスの流れを汲む交響曲に見られる高度な構築性が実現されるとともに、アメリカ先住民の民俗音楽や黒人霊歌を想起させる音楽的要素が、アメリカの土俗的な風合いを出すための「彩色」として用いられている。興味深いことに、第2楽章と第3楽章を作曲する際には、アメリカの詩人ヘンリー・ロングフェロー(1807~1882)がアメリカ先住民の伝説に基づいて書いた叙事詩『ハイアワサの歌』(1855)を着想源とした。

第1楽章 アダージョー アレグロ・モルト 序奏を伴うソナタ形式。ホルンによる第1主題と木管楽器による第2主題が提示されたのちに、主として提示部の末尾でフルートが奏でる主題を用いた展開部が続く。定石通りの再現部を経たのちに、第1主題に基づくコーダへ進む。

第2楽章 ラルゴ 短い序奏ののちに、イングリッシュホルンが有名な主題を奏でてゆく。ドヴォルザークは、『ハイアワサの歌』のうち、主人公ハイアワサとミネハハという女性との婚約を描いた第10章と、ミネハハの葬儀を描いた第20章をこの楽章の着想源としていた。

第3楽章 スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ 2つのトリオを持つスケルツォ楽章。ここでは、『ハイアワサの歌』第11章で語られる、ハイアワサとミネハハとの結婚式を祝う踊りが描写されている。

第4楽章 アレグロ・コン・フォーコ 序奏を伴うソナタ形式。弦楽器を主体とした短い序奏ののちに、ホルンとトロンボーンによる有名な第1主題と、クラリネットとフルートとチェロを主体とした第2主題による提示と展開が行われる。その後、第1楽章から第3楽章の主題も加わった新たな展開と、トロンボーンが第1主題を吹くところから始まる再現部を経て、全曲が華やかに締めくくられる。

中村 真 Text by NAKAMURA Makoto

作曲：1892年12月末～1893年5月末

初演：1893年12月16日ニューヨーク、アントン・ザイドル指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック協会管弦楽団

編成：フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュホルン、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦5部

3/14 SAT.

川崎定期演奏会 第104回

2026年3月14日(土) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

Kawasaki Subscription Concert No.104

Sat. 14th March 2026, 14:00 Muza Kawasaki Symphony Hall

藤岡幸夫[指揮]
 若尾圭良[ヴァイオリン]
 佐藤晴真[チェロ]
 福岡洸太郎[ピアノ]
 小林春成[コンサートマスター]

FUJIOKA Sachio, Conductor
 WAKAO Keila, Violin
 SATO Haruma, Cello
 FUKUMA Kotaro, Piano
 KOBAYASHI Issey, Concertmaster

プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲 第2番
 ト短調 op.63 (26')

I. Allegro・モデラート
 II. アンダンテ・アッサイ
 III. Allegro;ベン・マルカート

PROKOFIEV : Violin Concerto No.2
 in G minor op.63 (26')

I. Allegro moderato
 II. Andante assai
 III. Allegro;ben marcato

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲
 口短調 op.104(43')

I. Allegro
 II. アダージョ・マ・ノン・トロッポ
 III. フィナーレ: Allegro・モデラート

DVOŘÁK : Cello Concerto in B minor
 op.104 (43')

I. Allegro
 II. Adagio ma non troppo
 III. Finale : Allegro moderato

休憩(20')

Intermission(20')

サン＝サーンス:ピアノ協奏曲 第5番
 へ長調「エジプト風」op.103(29')

I. Allegro・アニマーテ
 II. アンダンテ
 III. モルト・アレグロ

SAINT-SAËNS : Piano Concerto No.5
 in F major "L'Egyptien" op.103 (29')

I. Allegro animato
 II. Andante
 III. Molto allegro

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援/川崎市、「音楽のまち・かわざき」推進協議会
- 協力/ミューザ川崎シンフォニーホール[川崎市文化財団グループ]

楽曲解説はP.12をご覧ください



MUZA
 KAWASAKI
 SYMPHONY HALL



アンケート
 ご協力をお願い

3/14 SAT.



©Shin Yamagishi

FUJIOKA Sachio

Conductor

藤岡幸夫

[指揮]

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子、サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

英国王立ノーザン音大指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を日本人にもかかわらず特例で受賞。

1994年ロンドン夏の風物詩《プロムス》にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。首席指揮者として毎年40公演以上を共演してきた関西フィルとは2026年が27年目のシーズン、2025年4月からは総監督としても楽団を牽引する。2019年からは東京シティフィル首席客演指揮者も務める。指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』（毎週土曜朝8:30・BSテレ東公式YouTubeでアーカイブ配信中）は2025年10月で12年目、放送600回に迫る人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。2026年4月、中部フィル芸術顧問に就任する。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

Sachio Fujioka was the last favorite student of renowned conductor Akeo Watanabe. He served as assistant to Sir Georg Solti in London.

In 1990 Fujioka enrolled in the conducting department of the Royal Northern College of Music in Manchester. Following his debut with the BBC Philharmonic in 1993, he made his debut in the London summer tradition "BBC PROMS" conducted the BBC Philharmonic in 1994. In 2001 he was appointed Principal Conductor of the Kansai Philharmonic and will begin 27th season in January 2026 as Principal and from April 2025, he also serve as General Director. He was appointed as Principal Guest Conductor of the Tokyo City Philharmonic in 2019. He also appears in TV program "Enter the Music" since October 2014. (BS TV TOKYO every Saturday from 8:30a.m.) He has released 8 CDs with the BBC Philharmonic on the British label CHANDOS.

He was the recipient Akeo Watanabe Foundation Music Award in 2002.

In April 2026, he will become an artistic advisor to the Chubu Philharmonic Orchestra.

WAKAO Keila, Violin

若尾圭良 [ヴァイオリン]

2006年、ボストン生まれ。3歳でヴァイオリンを始め、故ジョセフ・シルバースタイン、ドナルド・ワイラーシュタイン、ミリアム・フリード、竹澤恭子各氏に師事。2021年ユーディ・メニューイン国際コンクール・ジュニア部門優勝、スタルバーク国際弦楽器コンクール優勝。2023年青山音楽新人賞。2024年9月、アンドリス・ネルソンス指揮ボストン響のシーズンオープニングガラコンサートに出演。2025年夏、タンブルウッド・オザワホールで催された故・小澤征爾の彫刻除幕式では、作曲家ジョン・ウィリアムズ提案の特別プログラムを披露した。Ryuji Ueno財団並びにレア・ヴァイオリン・コンソーシアムより1690年ストラディバリウスクレモナ「テオドル」を貸与されている。



©Adriana Kopinja

SATO Haruma, Cello

佐藤晴真 [チェロ]

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝し、一躍国際的に注目を集めた。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞。第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など受賞多数。国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。23年4月、名門ドイツ・グラモフォンより3枚目のアルバム『歌の翼に〜メンデルスゾーン作品集』がリリースされた。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞、第32回日本製鉄音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰(国際芸術部門)。使用楽器は宗次コレクション貸与のE. ロッカ1903年。



©Seiichi Saito

FUKUMA Kotaro, Piano

福間洸太郎 [ピアノ]

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。

カーネギーホール、リンカーン・センター、サントリーホールなどでリサイタルを行い、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など著名オーケストラと多数共演。CDは多数録音しており、2023年リリースの「幻想を求めてー スクリャーピン&ラフマニノフ」(ナクソス)は欧州のInternational Classical Music Awardsにノミネートされた。2024年、通算20作目の「ショパンの想い出」(ナクソス)を日欧同時発売。同年、日本デビュー 20周年を迎え、全国10カ所で開催リサイタルツアーを行い、各地で高い評価を得た。珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ「レア・ピアノミュージック」のプロデュースや多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、5か国語を操り国内外で活躍中。



©Shuza Chiba

3/14 SAT.

セルゲイ・プロコフィエフ(1891~1953)

ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63

セルゲイ・プロコフィエフ(1891~1953)は音楽院在学中に2曲のピアノ協奏曲によって演奏家・作曲家として注目を集めて以来、この二足の草鞋を履きながらロシアと外国で活動した。ピアノは自分で弾き、妻や親友の歌手がいたが、ヴァイオリンに関しては長らく共演の相棒を探してきたのかもしれない。ソ連でオISTRAフと親しくなる前、プロコフィエフはベルギー系フランス人のロベール・ソエテンス(1897~1997)に目を留めた。彼の《2挺のヴァイオリンのためのソナタ》をストラヴィンスキーの相棒、サミュエル・ドゥシキンと一緒に1932年に好演した人物だ。《ヴァイオリン協奏曲第2番》は、プロコフィエフの自伝では1935年にソエテンスのファンからの委嘱で書かれたとされ、作曲家自身の意志で書かれたとするソエテンスの主張とは食い違いが見られる。いずれにせよプロコフィエフはソエテンスとの、おそらく数年来の約束を果たしたのだろう。1935年5月には、協奏曲(当初は小協奏曲)のスケッチが完成し、年末のソエテンスとのスペインや北アフリカ演奏旅行の計画も決まっていた。予定された秋のパリでの初演は直前にマドリード初演へと変更になった。

ストラヴィンスキーがドゥシキンのために書いた《ヴァイオリン協奏曲(1931)》を、プロコフィエフは意識しており、新古典主義的な傾向や、最終楽章の太太鼓をともなうテンポの切り替えなどにその影響が感じられる。また本協奏曲を特徴付けるリリカルな「単純さ」は、生活拠点を西欧からソ連に移しはじめたプロコフィエフがソ連音楽の道として意識し、批評家たちを驚かせることを自覚していた要素でもある。1935年当時、並行して書かれていたバレエ音楽《ロミオとジュリエット》との語法上の類似も著しい。

第1楽章は渋さをもつ第1主題、歌のように甘い第2主題からなるソナタ形式。第2楽章は、8分の12拍子の伴奏にのせた伸びやかな主題に各エピソードを対置している。第3楽章では、3拍子の舞踏的な Rond 主題に、哀愁漂う主題、7拍子の部分、付点リズムの主題、太太鼓をともない上下行する技巧的なソロが組み合わされている。時折登場するカスタネットはマドリード初演に関連して足されたと考えられている。

菊間史織 Text by KIKUMA Shiori

作曲:1935年

初演:1935年12月1日スペイン・マドリード、エドゥアルド・フェルナンデス・アルボス指揮、ロベール・ソエテンス独奏、マドリード交響楽団

編成:独奏ヴァイオリン、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、太太鼓、小太鼓、サスペンドシンバル、トライアングル、カスタネット、弦5部

アントニン・ドヴォルザーク(1841~1904)

チェロ協奏曲 短調 op.104

交響曲第9番「新世界より」などと共に、ドヴォルザークのアメリカ滞在中(1892~95年)に書かれた代表的な作品の一つである。彼は無名であった24歳の頃(1865年)にもイ長調のチェロ協奏曲を作曲しているが、オーケストレーションには至らなかった。その後、チェロのコンチェルトを書くことに懐疑的となっていたようだが、ヴィクター・ハーバートのチェロ協奏曲第2番の初演をニューヨークで聴いて大いに刺激を受け、帰国直後の1895年2月、自身のチェロ協奏曲を書き上げている。

この曲には、チェコへの望郷の念が強く表れていると考えられている。ドヴォルザークはニューヨークのナショナル音楽院(私立学校)に院長として招聘されていたが、1893年にアメリカで生じた深刻な不況により、次第に給与の支払いが滞るようになった。94年の夏に2年ぶりに一時帰郷したことも、かえって彼のホームシックを悪化させたようだ。また、かつて恋心を抱いたソプラノ歌手ヨゼフィナ(後にドヴォルザークは彼女の妹アンナと結婚)の病状が深刻化したことは、後で述べるように、彼のチェロ協奏曲に明確な刻印を残した。

第1楽章はソナタ形式で書かれている。クラリネットによる暗い第1主題とホルンによる美しい第2主題の対比が特徴的である。

緩徐楽章となる第2楽章は三部形式である。木管楽器による牧歌的な第1部の主題の後、独奏チェロによる第2部の主題が始まる。ここで用いられているのは、ヨゼフィナの愛唱歌であった「4つの歌曲」(作品82)の第1番「私にかまわないで」の旋律である。第3部では、独奏チェロが第1部の主題をカデンツァ風に変奏する。

自由なロンド形式で書かれた第3楽章は、ホルンによる活気に満ちた行進曲から始まる。黒人霊歌やチェコの民俗舞踊のリズムが巧みに用いられ、それぞれの主題が展開・再現される。帰国直後の1895年5月にヨゼフィナが亡くなった後、ドヴォルザークはソロ・ヴァイオリンと木管楽器に「私にかまわないで」の一節を歌わせ、コーダを大幅に拡張した。惜別を思わせる長い終結部については修正を求める声もあったようだが、作曲家本人は頑としてそれを受け入れなかった。

福田 宏 Text by FUKUDA Hiroshi

作曲:1894~95年

初演:1896年3月19日ロンドン、レオ・スターン(チェロ)、アントニン・ドヴォルザーク(指揮)、ロンドン・フィルハーモニー交響楽団

編成:独奏チェロ、フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン3、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、トライアングル、弦5部

3/14 SAT.

カミーユ・サン＝サーンス(1835~1921)

ピアノ協奏曲 第5番 へ長調「エジプト風」 op.103

1846年に10歳で公開演奏を行い、ピアニストとしてデビューしたサン＝サーンスは存命中、フランスを代表するピアニストの一人として、世界を股にかけて演奏旅行を行った。そのような彼のことであるから、1896年6月にデビュー50周年記念コンサートを開催する際、新作のピアノ協奏曲を作曲者自身の独奏でお披露目する、というのは自然な流れであった。しかし、なぜ「エジプト風」の愛称なのかということ、サン＝サーンスは避寒旅行として毎年のように北アフリカ諸国に滞在しており、1896年の1月から4月までエジプトにいたからである。よって、「エジプト便り」と意識すると作品の本質が掴めるであろう。

第1楽章 アレグロ・アニマート へ長調 3/4拍子 ソナタ形式

第1主題はサロン風の優美なワルツ。第2主題は二短調で付点リズムの物憂げな旋律。サン＝サーンスも出入りし、ヴィルチュオジテ(超絶技巧)の演奏を披露した19世紀のサロンの雰囲気を与える。

第2楽章 アンダンテ 二短調 3/4拍子 三部形式

アラブの旋法による第1主題をピアノを高らかに歌い上げ、その後もサン＝サーンスらしい東洋趣味の音楽が繰り広げられるが、これは厳密なエジプト音楽というより、現在でいうところのサウンドスケープであり、エジプトを含む東洋の国々で耳にした音を集めたアルバムである。とはいえ、あくまで調性音楽の土台の上に乗っているから、サン＝サーンスの音楽は「折衷主義」と呼ばれることがあるが、彼自身は若い頃に《東洋と西洋》という作品を発表して東西文化の融合を目指しており、彼の理念が体现された音楽なのであった。

第3楽章 モルト・アレグロ へ長調 2/4拍子 自由なソナタ形式

冒頭からピアノが低音の連打でうなり声をあげ、オネゲルの《パシフィック231》につながる蒸気機関の音を想起させるが、実際、サン＝サーンスが世界各地を旅する際に乗った乗り物は蒸気船であった。水しぶきがキラキラ輝くような第1主題は彼のピアノ演奏の特徴である「ジュー・ペルレ(真珠飾りのような奏法)」の面目躍如であり、大海原を見渡すような雄大な第2主題と、航海の印象を綴って祝祭的に締めくくられる。

要するに、この《協奏曲》にはサン＝サーンスの音楽の特徴が網羅されており、彼の創作・演奏活動人生の集大成といってもよい作品なのである。

中西充弥 Text by NAKANISHI Mitsuya

作曲:1896年

初演:1896年6月2日サル・プレイエル(パリ)、カミーユ・サン＝サーンス独奏、ポール・タファネル指揮、パリ音楽院演奏協会管弦楽団のメンバーによる特別編成オーケストラ

編成:独奏ピアノ、ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、タムタム、弦5部

3/28 SAT. 29 SUN.

第738回 定期演奏会

2026年3月28日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.738

Sat. 28th March 2026, 18:00 Suntory Hall

第145回 新潟定期演奏会

2026年3月29日(日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.145

Sun. 29th. March 2026, 17:00 Ryutopia Concert Hall

原田慶太楼[指揮]

彌勒忠史[カウンターテナー]

東響コーラス[合唱](3/28)

にいがた東響コーラス[合唱](3/29)

根本卓也[合唱指揮]

小川ニキティングレブ[コンサートマスター]

HARADA Keitaro, Conductor

MIROKU Tadashi, Countertenor

Tokyo Symphony Chorus, Chorus(3/28)

Niigata Tokyo Symphony Chorus, Chorus(3/29)

NEMOTO Takuya, Chorusmaster

OGAWA Nikitingleb, Concertmaster

コープランド: アメリカの古い歌

[第1集](14')

I. 船乗りたちの踊り

II. いかさま師

III. 遠い昔に

IV. 素直さの賜物

V. 私は自分に猫を買いました(子供の歌)

COPLAND: Old American Songs

(First set) (14')

I. The Boatmen's Dance

II. The Dodger

III. Long Time Ago

IV. Simple Gifts

V. I Bought Me a Cat(Children's Song)

バーンスタイン: チェスター詩篇(19')

休憩(20')

ショスタコーヴィチ: 交響曲 第5番

二短調 op.47(44')

I. モデラート

II. アレグレット

III. ラルゴ

IV. アレグロ・ノン・トロppo

BERNSTEIN: Chichester Psalms (19')

Intermission(20')

SHOSTAKOVICH: Symphony No.5

in D minor op.47(44')

I. Moderato

II. Allegretto

III. Largo

IV. Allegro non troppo

●主催/公益財団法人東京交響楽団(3/28)、公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団、TeNYテレビ新潟(3/29)

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(3/28)

新潟定期演奏会は、新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

楽曲解説はP.19をご覧ください

アンケート
ご協力をお願い

3/28 SAT. 29 SUN.



©MASATOSHI YAMASHIRO

HARADA Keitaro

Conductor

原田慶太楼
[指揮]

Permanent Conductor
正指揮者

東京交響楽団正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティストック・パートナー、米国サヴァンナ・フィル音楽&芸術監督、そして2025年7月からデイトン・フィルとデイトン・オペラ&バレエの音楽・芸術監督にも就任した、国際的に目覚ましい活躍を続ける期待の俊英。ジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントを務めてアリゾナ、ノースカロライナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場などオペラでも脚光を浴び、最近では日生劇場ドニゼッティ「連隊の娘」やデイトンでのヴェルディ「アイダ」でも舞台を力強く牽引しオペラ指揮者としての資質を感じさせた。タンブルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団のキャリア支援賞6度と日本人で初めてトップのコンダクター賞を受賞。キャッソルトン・フェスティバルにロリン・マゼールから、PMFにはファビオ・ルイジから招待を受け参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ:

kharada.com/ @KHconductor

Keitaro Harada has been the Music & Artistic Director of the Savannah Philharmonic since the 2020-21 season, transforming the orchestra with his original programs and charismatic presence, energizing audiences throughout the region. He became the Permanent Conductor of the Tokyo Symphony Orchestra from 2021, the Principal Guest Conductor and Artistic Partner of the Aichi Chamber Orchestra from 2024, and the Music & Artistic Director of the Dayton Philharmonic from July 2025. He is a promising young talent who continues to achieve remarkable success mainly in the United States, Europe, and Asia. He has built a close relationship with the NHK Symphony Orchestra, performing with them frequently and recording three albums with them. His musical vision is also diverse, ranging from symphonies, operas, and chamber music to pops, film music, educational outreach, and interdisciplinary projects, all of which enrich his programs.

kharada.com/ @KHconductor



MIROKU Tadashi

Countertenor

彌勒忠史

[カウンターテナー]

平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(音楽部門)をカウンターテナーとして史上初めて受賞。千葉大学大学院を経て東京藝術大学卒業。日生劇場「メディア」、佐渡裕指揮「夏の夜の夢」、アンドレア・バッティストーニ指揮「カルミナ・ブラーナ」、市川海老蔵特別公演「源氏物語」等の舞台や、メディアでもテレビ朝日「題名のない音楽会」「関ジャム完全燃SHOW」、TBS「プロフェッショナルランキング」等多数出演。日本音楽コンクール、東京音楽コンクール等の審査員も務める。また、演出家としても活躍しており、ファビオ・ビオンディが音楽監督を務めたヘンデル「シッラ」は、2023年佐川吉男音楽賞/奨励賞を受賞。CD「No early music, No life?」(OMF/朝日新聞推薦盤)や著作「イタリヤ貴族養成講座」(集英社)、「裏声歌手のモンテヴェルディ偏愛主義」(アルテスパブリッシング)など多数。現在、国立音楽大学客員教授。在日本フェッラーラ・ルネサンス文化大使。二期会会員。

Tadashi Miroku became the first countertenor to receive the 63rd Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology's Art Encouragement Prize (Music Division) in 2012. He graduated from Chiba University Graduate School and Tokyo University of the Arts. He has appeared in stage productions such as "A Midsummer Night's Dream" conducted by Yutaka Sado, "Carmina Burana" conducted by Andrea Battistoni, and a special performance of "The Tale of Genji" by Ebizo Ichikawa. He has also appeared in media programs, including TV Asahi's "Untitled Concert" and TBS's "Professional Ranking." He is also active as a director, and the production of Handel's "Scilla" with Fabio Biondi as music director, won the Sagawa Yoshio Music Award Encouragement Prize in 2023. He has published numerous books, including "Training Courses for the Italian Nobility" and "A Falsetto Singer's Monteverdi Obsession". A visiting professor at Kunitachi College of Music, Ferrara Renaissance Cultural Ambassador in Japan. He is a member of Nikikai.

3/28 SAT. 29 SUN.

NEMOTO Takuya, Chorusmaster

根本卓也 [合唱指揮]

東京藝術大学大学院修士課程(指揮)及び、国立リヨン高等音楽院(通奏低音)修了。

英独仏伊はもちろんのこと、ロシア語・チェコ語・ラテン語・ヘブライ語に至るまで、歌詞を原文で解する類稀な才能により、新国立劇場を始め、東京二期会・OMF・ニッセイオペラ等、国内主要団体に音楽スタッフとして、合唱指揮・ディクションコーチ・作品レクチャー講師ほか多岐にわたり活躍。チェンバロ奏者・作曲家としての顔も持つ。HP: <https://nemototakuya.info/>



東響コーラス [合唱] Tokyo Symphony Chorus, Chorus

1987年9月、東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。指導には、演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指導者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招き、公演ごとに出演者を決定するオーディションを行うことで常に演奏の質を高めている。歴代音楽監督の故秋山和慶、ユベール・スターン、ジョナサン・ノットからの信頼も厚い。古典から現代音楽、また日本初演など幅広いレパートリーに対応している。他団体からの出演依頼も多く、近年では「ラ・フォル・ジュルネ」に出演、「長野の県民文化会館とウィーン楽友協会の提携40周年演奏会」に賛助出演し好評を得た。2020年にはアマチュア合唱団として初めて「ミュージック・ペンクラブ音楽賞 室内楽・合唱部門」を受賞。

メンバー表

●合唱指揮:根本卓也

稽古ピアニスト:古瀬安子、清水 綾
発声指導:大沼 徹、高橋 淳、武内朋子
辻 裕久、中山美紀

●委員長 岡 邦子 (Sop.)

●副委員長 鳥居順子 (Sop.)

垣花亜妙子 (Alt.)
堀 浩史 (Bas.)

●パートリーダー

Sop. (正)佐藤由紀子 (副)小笠原美貴
Alt. (正)水越睦美 (副)小林朋子
Ten. (正)枇杷高志 (副)内山誠彦、奥貫壮史
Bas. (正)早川克己 (副)竹内誠治

●コーラス委員

Sop. 石井 恵、小野寺美和、増淵由佳
Alt. 岡本いつか、竹内あゆみ、鎗水みお
Ten. 菅野広和、木村 健、和田 敏
Bas. 北浦康勢、篠田一朗、仲 恭令

Soprano

石井 恵
石村友希子
岩元邦子
内野英子
遠藤由理
大貫由香
岡 邦子

小笠原美貴

奥泉亮子
小野寺美和
川崎仁美
草野真由美
佐藤深雪
佐藤由紀子
鳥居尚美
菅澤和美
ソートン久美
武田美香

都築靖子
鳥居順子
仁平朋子
平川暢子
平田 菜
本行住奈

増淵由佳
松本恵美
森田恵子
山下由美子
山之内文子
横井紀子
六井菜月

Alto

東 恭代
安藤有子
石渡範子
伊藤晴子
上原ハルミ
江藤祐子
岡本いつか
奥秋和歌子
奥山由里
尾崎いずみ
尾島夕里
尾田雅代
垣花亜妙子
木内道子
工藤有子
後藤幸子

小林朋子
小張さゆり
齋藤由紀
坂本タカ子
佐々木美登
関口あずみ
高田恵子
竹内あゆみ
田中美樹
辻 朱美

筒井敬子
日野由美子
福島里美
藤崎幸子
藤崎智子
藤盛美恵
水越睦美
山邊伸子
鎗水みお
吉井久美子
吉岡美佳子
吉村美恵子
和田真理

Tenor

内山誠彦
大崎 純
小川 徹
奥貫壮史
菅野広和
木村 健
小島岳登
鈴木徹也
谷川 啓
佃 浩一
中原裕幸
西 宏隆
服部俊治
枇杷高志
増淵 隆
水谷晴彦
和田 敏

Bass

荒川雅人
安藤志津夫
池上陽一郎
岡野一哉
北浦康勢

木内正則
倉沢正樹
黒澤 謙
河野 愛
小沼敬四郎
小山治彦
篠田一朗
竹内誠治
土井 文
仲 恭令
西村 真
早川克己
堀 浩史
水口敏也
水野 敬
宮坂知明
守谷隆一
矢野 通
山口 卓
山崎弘光
山之内達也
横尾 優
米田 光
渡辺理公男

アーロン・コーブランド(1900~1990)

アメリカの古い歌[第1集]

アーロン・コーブランド(1900~1990)は、ユダヤ系ロシア移民の息子としてニューヨークのブルックリンに生まれた。パリに留学し、ヨーロッパのモダニズムを吸収したが、20年代半ばに帰国後は、作曲家、教育者としてアメリカ音楽のアイデンティティを念頭に、民謡を響かせ、「庶民」のための音楽を作るなど、後世にも大きな影響を与えた。

特に20世紀の前半から中盤にかけては、あらゆる芸術ジャンルについて、「アメリカ」とは何かを表現することが問われた時代でもあったが、1950年代に作られた《アメリカの古い歌》は、まさに19世紀のアメリカの民謡やミンストレル・ソング、讃美歌、子どもの歌など、多様なアメリカの魂の歌を、コーブランドが多彩な芸術歌曲として編曲したものである。その特徴は、旋律と言葉のリズムを大切に、素朴な親しみやすさを残しながら、その世界観を効果的な音響で描き出した点にある。当初、独唱とピアノのために作曲された10曲は2つの歌集に分かれ、第一集はテノールのピーター・ピアーズとベンジャミン・ブリテンのピアノによって初演された。後に、本日演奏される管弦楽版が発表され1955年に初演された。それぞれの原曲は以下の通りである。

第一曲〈The Boatmen's Dance〉(船乗りたちの踊り)は、バンジョーで弾き語る歌として1843年に出版された歌。**第二曲〈The Dodger〉(いかさま師)**は、1880年代の選挙で歌われた政治風刺の内容で、ローマックス親子の収集した民謡が出典である。**第三曲〈Long Time Ago〉(遠い昔に)**はミンストレル・ショーで歌われていたナンバーが原曲。**第四曲〈Simple Gifts〉(素直さの賜物)**は、1830~40年代のシェイカー教徒の儀式の歌から旋律を引用している。**第五曲〈I bought me a cat (Children's Song)〉(私は自分に猫を買いました(子供の歌))**は、動物を真似た鳴き声などコミカルに軽快な子どものナンセンス・ソング。ミュージカル「オクラホマ!」の原作者としても知られる劇作家のリン・リッグスが子ども時代に口ずさんでいた歌を、コーブランドが教えてもらったという。

大田美佐子 Text by OHTA Misako

作曲:1954年(ピアノ版 1950年)

初演:1950年10月17日イギリスのオールドバラ・フェスティバル、ピーター・ピアーズ(Ten.)、ベンジャミン・ブリテン(pf.)

管弦楽版の初演:1955年1月7日ウィリアム・ウォーフィールド(Bar.)、アルフレッド・ウォレンスタイン指揮、ロサンゼルス・フィルハーモニック

編成:フルート(ピッコロ持替)、オーボエ、クラリネット2、ファゴット、ホルン2、トランペット、トロンボーン、ハーブ、弦5部、混声合唱

3/28 SAT. 29 SUN.

レナード・バーンスタイン(1918~1990)

チチェスター詩篇

レナード・バーンスタイン(1918~1990)は、20世紀アメリカ音楽界のアイコンであり、指揮者、作曲家、演奏家、教育者と音楽のルネッサンス的な万能の才でも名高い。作品も交響曲、室内楽から、ブロードウェイ・ミュージカル、演劇的な歌曲に至るまで幅広いが、なかでも、宗教曲はバーンスタインの創造性の根源を理解するうえで重要な意味を持つ。

《チチェスター詩篇》は1965年、イギリスの南部にあるチチェスター大聖堂での音楽祭のために委嘱され、ヘブライ語で書かれた旧約聖書の詩篇をテキストとして、ヘブライ語とキリスト教の合唱曲の伝統が統合された作品である。後年バーンスタイン自身、12音技法や実験的な書法を試行錯誤した後に、それが自分自身の音楽でない悟り、その帰結として作られた《チチェスター詩篇》のことを「私の末っ子は、ちょっと古風だが可愛らしく、調性という二本の足でしっかりと立っている」と表現した。

宗教作品でありながら、メロディーや変則的なリズムにポピュラーな味わいがある点が、いかにもバーンスタインらしい傑作だが、3楽章で構成され、それぞれの詩篇の内容を見事に音楽の身ぶりが示す。**第1楽章**では、詩篇108「箏と琴よ、目を覚ませ！暁の目を私は覚まそう！」が印象的な短7度のモチーフで表現された後、詩篇100「全地よ、主に向かい声を上げよ。喜びのうちに主に仕えよ。」が4分の7拍子で快活に歌われ、神への賛美が力強く表現される。**第2楽章**では、詩篇23「主は私の羊飼い。私に欠けるものはない。」がハープの音を伴い高音のソロで清らかに歌われた後、その静けさを打ち破るように詩篇2「なぜ国々はどよめき、諸民族は空しくつづやくのか？」が合唱で歌われ、平和の祈りと暴力的な現実の不穏さが対置される。**第3楽章**では管弦楽で第一楽章冒頭のモチーフが回想され、4分の10拍子で詩篇131「主よ、主よ、私の心は思い上がり、私の目は驕り高ぶらず、自分には大それたこと、究められないことを私は追いません。」が歌われ、コーダとして詩篇133「ああ、何と良く、楽しいことか、兄弟一緒に住むことは。」が厳かに静かに響く。

大田美佐子 Text by OHTA Misako

作曲：1965年

初演：1965年7月15日レナード・バーンスタイン指揮、ジョン・ボガート(ボーイ・ソプラノ)、カメラータ・シンガーズ、ニューヨーク・フィルハーモニック管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック・ホール

編成：カウンターテナー独唱、トランペット3、トロンボーン3、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、サスペンドシンバル、トライアングル、タンバリン、ウッドブロック、テンブルブロック、むち、ボンゴ、チューブラベル、グロッケンシュピール、シロフォン、ハープ2、弦5部、混声合唱

ドミートリイ・ショスタコーヴィチ(1906~1975)

交響曲 第5番 二短調 op.47

1936年初頭、バレエ《澄んだ小川》とオペラ《ムツェンスク郡のマクベス夫人》を激烈な口調で断罪する論文が相次いでソ連共産党機関紙に掲載されたことで、順風満帆だった若手作曲家ショスタコーヴィチのキャリアは一変する。「彼の今後の仕事に役立ちうる実務的で真摯な批評」として発表されたその批判文はその実、作曲家への最後通告という意味合いすら有していた。

苦しみ抜いたショスタコーヴィチは準備していた交響曲第4番を封印し、1937年春から3ヶ月という短期間で改めて本作、交響曲第5番を創り上げた。彼は「正当な批判に対するソヴィエト芸術家の実際の・創造的応答」とこの曲を位置づけ、自身の批判からの名誉回復を図ったのである。

はたしてその試みは成功裏に終わり、批評家からも聴衆も初演に熱狂的な賛辞を浴びせた。「過去の誤り」を克服したショスタコーヴィチとその証明として差し出された交響曲は、批評家たちにも肯定的に受け入れられ、ソヴィエト芸術の象徴として世界中でも人気を博すようになった。もっとも、ソ連が崩壊し、ショスタコーヴィチとその芸術の事情が明らかになるにつれ、本曲を含めた彼の創作は多面的な解釈が可能なものとなっていることもまた興味深い。

第1楽章(モデラート)は古典的なソナタ形式の楽章。しかし、緊張感にあふれた二短調の第一主題と、変ホ短調から転調を繰り返しながらホ長調へと移る第二主題は両方とも暗い楽想となっており、対比によってドラマを生む「ソナタ」の典型とは異なっている。

第2楽章(アレグレット)はスケルツォ。舞曲のリズムに基づいているが、旋律は踊りの優雅さとはほど遠い、グロテスクに変容されたものとなっている。

第3楽章(ラルゴ)は嬰へ短調による緩徐楽章。全体を通して金管楽器が用いられず、それにより楽章全体に哀切で悲劇的な、時に切なる祈りにも似た響きが貫き通されている。

第4楽章(アレグロ・ノン・トロppo)は壮大で劇的なフィナーレ。二短調で始まり二長調で終結する構造は、ロマン主義的な交響曲の典型である「苦悩から勝利へ」の道筋の正当な継承のように見えるが、ショスタコーヴィチの当時の状況(不倫の恋とその破局)も相まって、複数的な解釈を生み出している。

山本明尚 Text by YAMAMOTO Akihisa

作曲:1937年

初演:1937年11月21日レニングラード・フィルハーモニー大ホール、エヴグーニイ・ムラヴィンスキー指揮、レニングラード・フィルハーモニー交響楽団

編成:ピッコロ、フルート2、オーボエ2、小クラリネット、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タムタム、トライアングル、グロッケンシュピール、シロフォン、ハープ2、ピアノ、チェレスタ、弦5部

3/28 SAT. 29 SUN.

コープランド:古いアメリカの歌[第1集]

[歌詞対訳] 訳:三ヶ尻正

The Boatmen's Dance

High row the boatmen row,
floatin' down the river, the Ohio.

The boatmen dance, the boatmen sing,
the boatmen up to ev'rything.
And when the boatmen gets on shore
he spends his cash and works for more.

Then dance then boatmen dance!
O dance the boatmen dance!
O dance all night till broad daylight,
and go home with the gals in the mornin'.

High row the boatmen row,
floatin' down the river, the Ohio.

I went on board the other day
to see what the boatmen had to say.
There I let my passion loose,
an' they cram me in the callaboose.

O dance the boatmen dance!
O dance the boatmen dance!
Then dance all night till broad daylight,
and go home with the gals in the mornin'.

High row the boatmen row,
floatin' down the river, the Ohio.

The boatman is a thrifty man.
There's none can do as the boatmen can.
I never see a pretty girl in my life,
but that she was a boatman's wife.

O dance the boatmen dance!
O dance the boatmen dance!
O dance all night 'till broad daylight,
and go home with the gals in the mornin'!

High row the boatmen row,
floatin' down the river, the Ohio.

船乗りたちの踊り

威勢よく漕ぐ、船乗りたちは漕ぐ。
オハイオ川に浮かんで下りながら。

船乗りたちは踊る、船乗りたちは歌う。
船乗りたちは何だってやってしまう。
そして陸に上がったら
金を使う。そしてもっと稼ごうと働く。

それなら踊れ、船乗りたちよ、踊れ。
おお踊れ、船乗りたちよ、踊れ。
おお夜通し踊れ、陽の光が一面に広がるまで。
そして朝になったら娘を連れて家に帰るがいい。

威勢よく漕ぐ、船乗りたちは漕ぐ。
オハイオ川に浮かんで下りながら。

私も先日船に乗った、船乗りたちが
どんなことを言いたいのか知ろうと。
そこで私が自分の情熱を解き放つと
彼らは私をブタ箱に押し込めた。

おお踊れ、船乗りたちよ、踊れ。
おお踊れ、船乗りたちよ、踊れ。
おお夜通し踊れ、陽の光が一面に広がるまで。
そして朝になったら娘を連れて家に帰るがいい。

威勢よく漕ぐ、船乗りたちは漕ぐ。
オハイオ川に浮かんで下りながら。

船乗りってのは容量がいい。
船乗りみたいに事を運べる者はいないさ。
今まで、船乗りの奥さんだっというほど
きれいな女なんて見たことがないよ。

おお踊れ、船乗りたちよ、踊れ。
おお踊れ、船乗りたちよ、踊れ。
おお夜通し踊れ、陽の光が一面に広がるまで。
そして朝になったら娘を連れて家に帰るがいい。

威勢よく漕ぐ、船乗りたちは漕ぐ。
オハイオ川に浮かんで下りながら。

The Dodger

Yes the candidate's a dodger,
yes a well known dodger.
Yes the candidate's a dodger,
yes and I'm a dodger too.

He'll meet you and treat you
and ask you for your vote.
But look out boys,
he's adodgin' for a note.

Yes we're all dodgin', adodgin'
out a way through the world.

Yes the preacher he's a dodger,
yes a well known dodger.
Yes the preacher he's a dodger,
yes and I'm a dodger too.

He'll preach you a gospel
and tell you of your crimes.
But look out boys,
he's a dodgin' for your dimes,*

Yes we're all dodgin' adodgin'
out a way through the world.

Yes, the lover he's a dodger,
yes a well known dodger.
Yes the lover he's a dodger,
yes and I'm a dodger too.

He'll hug you and kiss you
and call you his bride.
But look out girls,
he's atellin' you a lie.

Yes we're all dodgin' adodgin'
out a way through the world.

いかさま師

そう、あの候補者はいかさま師だ。
そう、よく知れたいかさま師さ。
そう、あの候補者はいかさま師で、
そう、それに俺もいかさま師さ。

奴はお前に会いに来ておごってくれて
そしてお前の一票を入れてくれと言う。
だが男どもよ、気をつけろ。
奴は札束のためにいかさまをやってるんだ。

そう、俺たちはみんないかさまで
世間をすり抜けてるのさ。

そう、宣教師だっていかさま師だ。
よく知れたいかさま師さ。
そう、宣教師だっていかさま師だ。
そう、それに俺もいかさま師さ。

奴はお前に福音書を宣べ伝えて、
お前の罪状をあげつらう。
だが男どもよ、気をつけろ。
奴はコイン*欲しさでいかさまをやってるんだ。
(*ダイム=10セント硬貨)

そう、俺たちはみんないかさまで
世間をすり抜けてるのさ。

そう、恋人の男なんてのもいかさま師だ。
よく知れたいかさま師さ。
そう、恋人の男なんてのもいかさま師だ。
そう、それに俺もいかさま師さ。

そいつはお前を抱き寄せてキスするさ。
それでお前を「花嫁よ」なんて呼ぶんだ。
だが娘さんたち、気をつけな。
そいつが言うのはウソなんだから。

そう、俺たちはみんないかさまで
世間をすり抜けてるのさ。

3/28 SAT. 29 SUN.

Long Time Ago

On the lake where droop'd the willow
Long time ago,
Where the rock threw back the billow,
Brighter than snow.

Dwelt a maid beloved and cherish'd
By high and low,
But with autumn leaf she perish'd,
Long time ago.

Rock and tree and flowing water,
Long time ago,
Bird and bee and blossom taught her
Love's spell to know.

While to my fond words she listen'd,
Murmuring low,
Tenderly her blue eyes glisten'd
Long time ago.

遠い昔に

柳の枝が垂れている湖のほとりに
遠い昔のこと
雪よりも明るい色の波を
岩が投げ返しているところに、

一人の娘が住んでいて、可愛がられていました、
身分の高い方にも低い方にも。
でも彼女は秋の葉と一緒に亡くなってしまったのです、
遠い昔に。

岩と木と川の流れが
遠い昔に
鳥に蜂に花が、彼女に
愛の魔法を感じるように教えてくれていたのです。

私が優しい言葉を小さな声でつぶやくと
彼女はそれを聞いて
彼女の青い目はやさしく涙で光ったものでした。
遠い昔に。

Simple Gifts

'Tis the gift to be simple
'tis the gift to be free.
'Tis the gift to come down
where you ought to be.
And when we find ourselves
in the place just right,
'Twill be in the valley of love and delight.

When true simplicity is gained,
To bow and to bend
we shan't be ashamed.
To turn, turn will be our delight

'Twill by turning,
turning we come round right.

素直さの賜物

素直でいられることは天賦の賜物だ。
捉われずにいられることも。
低く振る舞うべきときに
低くしていられることは賜物だ。
そして自分がちょうど
相応しい場所にいると思えるなら、
それは愛と喜びの谷の中のように感じられるだろう。

そうした素直さが得られたなら
頭を下げたり腰を低くしたりすることは
恥でも何でもない。
向きを変えること、目指す向きを変えることも
喜びとなるだろう。
向きを変えることで、
うまく行くこともあるだろう。

I Bought Me a Cat (Children's Song)

I bought me a cat,
my cat pleased me.
I fed my cat under yonder tree.
My cat says "fiddle eye fee".*

I bought me a duck,
my duck pleased me.
I fed my duck under yonder tree.
My duck says "Quaa, quaa",
My cat says "fiddle eye fee".

I bought me a goose,
my goose pleased me.
I fed my goose under yonder tree.
My goose says "Quaw, quaw",
My duck says "Quaa, quaa",
My cat says fiddle eye fee.

I bought me a hen,
my hen pleased me.
I fed my hen under yonder tree.
My hen says "Shimmy shack, shimmy shack",
My goose says "Quaw, quaw",
My duck says "Quaa, quaa",
My cat says "fiddle eye fee".

I bought me a pig,
my pig pleased me.
I fed my pig under yonder tree.
My pig says "Griffey, Griffey".
My hen says "Shimmy shack, shimmy shack",
My goose says "Quaw, quaw",
My duck says "Quaa, quaa",
My cat says "fiddle eye fee".

I bought me a cow,
my cow pleased me.
I fed my cow under yonder tree.
My cow says "Baw, baw".
My pig says "Griffey, Griffey".
My hen says "Shimmy shack, shimmy shack",
My goose says "Quaw, quaw",
My duck says "Quaa, quaa",
My cat says "fiddle eye fee".

私は自分に猫を買いました (子供の歌)

私は自分に猫を買いました。
猫は私を喜ばせてくれます。
私はあそこの木の下で猫に餌をやりました。
猫は言います、「フィドゥル・アイ・フィー」*と。
(*以下動物や鳥の鳴き声)

私は自分にあひるを買いました。
あひるは私を喜ばせてくれます。
私はあそこの木の下であひるに餌をやりました。
あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
猫は言います、「フィドゥル・アイ・フィー」と。

私は自分にガチョウを買いました。
ガチョウは私を喜ばせてくれます。
私はあそこの木の下でガチョウに餌をやりました。
ガチョウは言います、「クウォー、クウォー」と。
あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
猫は言います、「フィドゥル・アイ・フィー」と。

私は自分に鶏を買いました。
鶏は私を喜ばせてくれます。
私はあそこの木の下で鶏に餌をやりました。
鶏は言います、「シミー・シャック、シミー・シャック」と。
ガチョウは言います、「クウォー、クウォー」と。
あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
猫は言います、「フィドゥル・アイ・フィー」と。

私は自分に豚を買いました。
豚は私を喜ばせてくれます。
私はあそこの木の下で豚に餌をやりました。
豚は言います、「グリフィー、グリフィー」と。
鶏は言います、「シミー・シャック、シミー・シャック」と。
ガチョウは言います、「クウォー、クウォー」と。
あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
猫は言います、「フィドゥル・アイ・フィー」と。

私は自分に牛を買いました。
牛は私を喜ばせてくれます。
私はあそこの木の下で牛に餌をやりました。
牛は言います、「ボー、ボー」と。
豚は言います、「グリフィー、グリフィー」と。
鶏は言います、「シミー・シャック、シミー・シャック」と。
ガチョウは言います、「クウォー、クウォー」と。
あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
猫は言います、「フィドゥル・アイ・フィー」と。

3/28 SAT. 29 SUN.

I bought me a horse,
 my horse pleased me.
 I fed my horse under yonder tree.
 My horse says "Neigh, neigh, neigh",
 My cow says "Baw, baw",
 My pig says "Griffey, Griffey",
 My hen says "Shimmy shack, shimmy shack",
 My goose says "Quaw, quaw",
 My duck says "Quaa, quaa",
 My cat says "fiddle eye fee".

I bought me a wife,
 my wife pleased me.
 I fed my wife under yonder tree.
 My wife says "Honey, honey",
 My horse says "Neigh, neigh, neigh",
 My cow says "Baw, baw",
 My pig says "Griffey, Griffey",
 My hen says "Shimmy shack, shimmy shack",
 My goose says "Quaw, quaw",
 My duck says "Quaa, quaa",
 My cat says "fiddle eye fee".

私は自分に馬を買いました。
 馬は私を喜ばせてくれます。
 私はあそこの木の下で馬に餌をやりました。
 馬は言います、「ネイ、ネイ、ネイ」と。
 牛は言います、「ボー、ボー」と。
 豚は言います、「グリフィー、グリフィー」と。
 鶏は言います、「シミー・シャック、シミー・シャック」と。
 ガチョウは言います、「クウォー、クウォー」と。
 あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
 猫は言います、「フィドウル・アイ・フィー」と。

私は自分に奥さんを買いました。
 奥さんは私を喜ばせてくれます。
 私はあそこの木の下で奥さんに食事を食べさせました。
 奥さんは言います、「ハニー、ハニー *」と。(*「あなた」の親称)
 馬は言います、「ネイ、ネイ、ネイ」と。
 牛は言います、「ボー、ボー」と。
 豚は言います、「グリフィー、グリフィー」と。
 鶏は言います、「シミー・シャック、シミー・シャック」と。
 ガチョウは言います、「クウォー、クウォー」と。
 あひるは言います、「クワァー、クワァー」と。
 猫は言います、「フィドウル・アイ・フィー」と。

バーンスタイン:チチェスター詩篇

[歌詞対訳] 訳:杉江拓磨

I

Ps. 108, vs. 2:

Urah, hanevel, v'chinor!
A-irah shaḥar!

詩篇108篇2節:

箏と琴よ、目を覚ませ!
暁の目を私は覚まそう!

Ps. 100, entire:

Hariu l'Adonai kol haarets.
Iv'du et Adonai b'simḥa.
Bo-u l'fanav bir'nanah.
D'u ki Adonai Hu Elohim.
Hu asanu, v'lo anahnu.
Amo v'tson mar'ito.
Bo-u sh'arav b'todah,
Ḥatseirotav bit'hilah,
Hodu lo, bar'chu sh'mo.
Ki tov Adonai, l'olam ḥas'do,
V'ad dor vador emunato.

詩篇100篇:

全地よ、主に向かい声を上げよ。
喜びのうちに主に仕えよ。
歓呼のうちに御前に来れ。
主こそ神と知れ。
我々を造ったのはかれ、我々ではない。
我々はかれの民、かれの牧場の羊。
入れ、感謝を口にかれの門を、
賛美を口にかれの中庭へ。
かれに感謝し、その名をたたえよ。
主は善意ある方。その慈しみは永遠に、
その変わらぬ誠は代々にまで及ぶ。

II

Ps. 23, entire:

Adonai ro-i, lo eḥsar.
Bin'ot deshe yarbitseini,
Al mei m'nuḥot y'naḥaleini,
Naf'shi y'shovev,
Yan'heini b'ma'aglei tsedek,
L'ma'an sh'mo.
Gam ki eilech
B'gei tsalmavet,
Lo ira ra,
Ki Atah imadi.
Shiv't'cha umishan'techa
Hemah y'naḥamuni.

Ta'aroch l'fanai shulchan
Neged tsor'rai

詩篇23篇:

主は私の羊飼い。私に欠けるものはない。
かれは私を新緑の牧草地に横たえ、
憩いの水辺に伴い、
私の魂を生き返らせ、
私を正義の道筋に導く、
かれの名のために。
暗黒の谷を
歩むときも、
私は災いを恐れない。
あなたが私と共におられるから。
あなたの竿や杖が
私を慰める。

敵と向き合う私の前に
あなたは食卓を調え、

3/28 SAT. 29 SUN.

Dishanta vashemen roshi
 Cosi r'vayah.
 Ach tov vahesed
 Yird'funi kol y'mei hayai,
 V'shav'ti b'veit Adonai
 L'orech yamim.

油で私の頭をつややかにする。
 私の杯は満ち溢れる。
 善意と慈しみが
 生涯私に付いてくる。
 私は主の家に住もう、
 日の続くかぎり。

Ps. 2, vs. 1-4:

Lamah rag'shu goyim
 Ul'umim yeh'gu rik?
 Yit'yats'vu malchei erets,
 V'roznim nos'du yahad
 Al Adonai v'al m'shiho.
 N'natkah et mos'roteimo,
 V'nashlichah mimenu avoteimo.
 Yoshev bashamayim
 Yis'hak, Adonai
 Yil'ag lamo!

詩篇2篇1-4節:

なぜ国々はどよめき、
 諸民族は空しくつぶやくのか？
 地の王たちは立ち上がり、
 諸侯は一同に共謀し、
 主とその油注がれた者に刃向かう。
 「彼らの枷を引きちぎり、
 彼らの縄をこの身から振り払おう」と。
 天に座する方は
 笑う。主は
 彼らをあざける！

III

Ps. 131, entire:

Adonai, Adonai,
 Lo gavah libi,
 V'lo ramu einai,
 V'lo hilachti
 Big'dolot uv'niflaot
 Mimeni.
 Im lo shiviti
 V'domam'ti,
 Naf'shi k'gamul alei imo,
 Kagamul alai naf'shi.
 Yahel Yis'rael el Adonai
 Me'atah v'ad olam.

詩篇131篇:

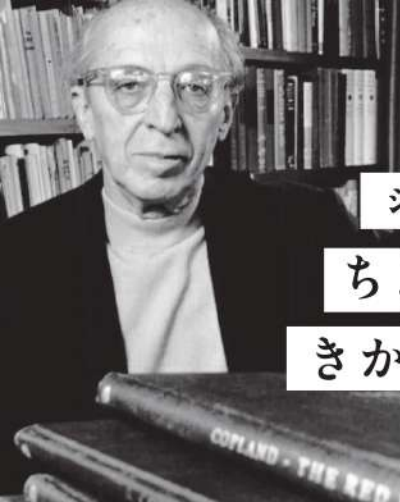
主よ、主よ、
 私の心は思い上がらず、
 私の目は驕り高ぶらず、
 自分には
 大それたこと、究められないことを
 私は追いません。
 私はなだめ、
 落ち着かせたではないですか、
 私の魂を、母から乳離れた子のように。
 私の魂は私から乳離れた子のように。
 イスラエルよ、主を待ち望め、
 今より永遠に至るまで。

Ps. 133, vs. 1:

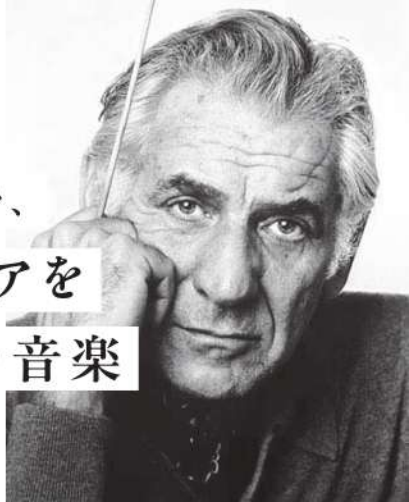
Hineh mah tov,
 Umah naim,
 Shevet ahim
 Gam yahad.

詩篇133篇1節:

ああ、何と良く、
 楽しいことか、
 兄弟一緒に
 住むことは。



Symphony Lounge
[シンフォニー・ラウンジ]



シリアスでポップで、
ちよつとユーモアを
きかせたアメリカ音楽

文 柿沼敏江(音楽評論家)

Aaron Copland × Leonard Bernstein

アメリカ音楽はヨーロッパの音楽とはどう違うのだろうか。アメリカ独自の音楽的風土とはどういうものだろうか。ひとつには、広大な新大陸に移植され、その土地で独自の変化を遂げた土着のフォークソングや民俗音楽がある。アフリカ系アメリカ人たちがつくったジャズやブルースなどのポピュラー音楽も、アメリカの独自性を色濃くつくり出した。ヨーロッパから海を隔てて離れているという地理的特性も、独自の文化を育てるのにはうってつけだった。こうしてつくられたアメリカ特有の音楽文化は、新しい独自の表現を身につけた作曲家たちを生むことになる。アーロン・コプランド(1900~1990)とレナード・バーンスタイン(1918~1990)は、そうしたなかでもひとときを輝く存在である。

コプランドは、パリに留学してナディア・ブーランジェに学び、本格的なヨーロッパの語法、とくに新古典主義的なスタイルを身につける一方で、早い時期から自作の音楽にジャズを採り入れるよう

になった。《劇場のための音楽》(1925)では、「プロローグ」や「パースク」(滑稽な軽い演劇)の楽章で、ジャズの語法が使われている。30-40年代にはアメリカ的な主題によるバレエ音楽《ビリー・ザ・キッド》、《ロデオ》、《アパラチアの春》で知られるようになり、「アメリカのストラヴィンスキー」とも呼ばれるようになった。その音楽には懐かしい民謡や讃美歌がしばしば採り入れられており、たとえば《アパラチアの春》ではシェーカー教の聖歌〈シンプル・ギフト〉が引用されている。今回演奏される《アメリカの古い歌、第1集》の3曲目はまさにその〈シンプル・ギフト〉である。また最後の第4曲では動物の鳴き声が採り入れられており、親しみやすさと明るさのなかにちよつとしたユーモアをきかせているところがアメリカ的だ。

アメリカを代表する指揮者であったバーンスタインは、作曲家としては大ヒットした《ウェストサイド物語》などのミュージカルで知られている。しかし敬虔なユダヤ教徒の家庭で育ち、子供の頃から

らシナゴークに通っていたこの作曲家が、宗教的な作品に多くの情熱を注いでいたことは、もっと注目されていい。交響曲第1番「エレミヤ」と交響曲第3番「カディッシュ」はユダヤ教に関わる作品で、ともに一部にヘブライ語が使われている。おそらくもっとも重要だと思われる作品がケネディ・センターの開館式のために書かれた《ミサ》(1971)で、ロック・バンドを組み込んだ編成からもわかるように、ポピュラー音楽的要素が大胆に加えられている。カトリックの典礼ミサというシリアスな枠組みに、ポップな感覚を織り込み、現代のアメリカに相応しい壮大な作品に仕上げている。

ポップな要素を取り入れることを低俗だと思ふ人もいるかもしれない。しかしこれはアメリカの土壌を考えればむしろ当然のことである。アメリカの教会の日曜の礼拝では、お祈りの後で人々がギターやエレキギターを演奏しながら歌い、さながらポピュラー音楽のコンサートのようになる。アメリカにはそうした特有の宗教的、文化的な風土がある。まさにシリアスとポップが混じりあっているのが、アメリカなのである。

バーンスタインの《チチェスター詩篇》(1965)は旧約聖書の『詩篇』による作品で、ユダヤの王ダヴィデの言葉がヘブライ語で美しく歌われる。深刻すぎることなく、まるでミュージカルのように展開するシアトリカルな作品であるが、これが大作《ミサ》へと繋がっていくことになる。

さて、バーンスタインは音楽において「ユーモア」はきわめて大事だと考え、「ヤング・ピープルズ・コンサート」でこのテーマをとりあげて論じたことがある。《ミサ》などの宗教的な作品にもユーモアを感じさせる箇所は盛り込まれているが、たとえば初期の歌曲集《私は音楽が嫌い》(1943)にはすでに作曲家のユーモアのセンスが生かされている。10歳の女の子がおしゃまな語り口でこう歌う——「音楽はたくさんさんの燕尾服を着た男の人たちがうるさい騒音をたてるもの...音楽はたくさんの人たちが大きくて暗いホールにいるものだけど、みんな本当はそこにいたくはないの...音楽ってくだらない。私は音楽が嫌い...」。バーンスタインの作品は今日のアメリカの危うい状況への危機感を窺わせるが、それをポップな感覚でユーモアを込めて実現し、まさに現代のアメリカをヴィヴィッドに写し出すものとなっている。

原田慶太楼は、アメリカの大学で学び、研鑽を積んだ指揮者であり、南北アメリカ音楽を得意なレパートリーのひとつとしている。愛知室内オーケストラ時代には、コリリアーノやドアティなどのアメリカ作品に加えて、メキシコのアルトゥロ・マルケスの《ダンソン第4番》の日本初演を行なった。コープランドとバーンスタインというアメリカを代表する作曲家をとりあげた今回のプログラムは、原田の正指揮者としての最後の公演にまさに相応しいと言えるだろう。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらくホールディングス
株式会社ティーワイリミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ
株式会社雅玖仁

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
税理士法人WATANABE

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社



©N Ikegami

ご芳名 (敬称略)

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(12月5日現在。五十音順)。

個人会員

サークル50

伊藤 晴美 澤田 秀雄
伊藤 美樹 清水 尚彦
沖田 陽子 山口 稿恵
鷺海 暈明 山口 学
木暮 紀子 匿名 3名

サークル25

荒木 陽子 手塚 和彦
猪田 隆文 戸川 二郎
井上 孝昭 長瀬 雅則
岡野 一哉 平山 誠史
加藤 英輔 山本 誠一郎
後藤 美 匿名 2名

サークル10

天野 佳和 高津 麻子
五十嵐 建平 高野 幸一
井澤 菜穂子 高島 琢己
石川 晴依世 高家 正行
井上 千恵子 田口 之博
岩田 新 竹田 忍
内山 誠彦 田中 建一
梅沢 麻衣 谷川 啓
遠藤 秀和 谷藤 明雄
大城 明幹 千葉 清
大崎 明子 角田 隆・直子
大島 肇 中澤 守正
太田 純子 成瀬 倉祥
大塚 具幸 西谷 公男
大類 浩 原田 美保子
岡 邦子 枇杷 高志
尾崎 茂 星 久人
片山 泰輔 増岡 聡一郎
片山 千栄 三浦 麻子
金山 尚弘 水越 睦美
金子 元 滝田 久美子
金子 好生 峯岸 恭博
木質 賢市 森 京子
菊池 光剛 森 正則・道子
木内 光 小林 光
小林 健 国彦
古丸 健 森下 昭
近藤 和喜夫 八鍬 昭
斎藤 秀木 山上 典彦
斎藤 佐々木 山本 重雄
佐野 利勝 山本 明
清水 幹雄 吉井 久美子
白井 恭一 吉村 美恵子
高澤 美貴子 米岡 修一
高田 光官 匿名 14名

フレンズ5

東 恭代 高際 比呂志
有江 純子 寺西 基之守
石原 祥子 中尾 守
潮田 伊織 中島 信男
大川 朋彦 早川 正志
大野 松子 松信 秀幸
奥秋 和彦 村松 秀幸
河野 愛 山口 聡
小林 義彦 山田 修造
小藤 信一郎 山本 喜良
塩澤 誠司 吉田 哲四郎
匿名 4名

フレンズ3

秋山 真一郎 佐藤 悦子
明田 重樹 佐藤 健可
荒 洋一 *清水 元
石澤 卓志 阿部 良枝
井上 聡 清水 弘浩
岩瀬 正明 新保 弘也
大崎 純 杉田 弘也
大津 透 鈴木 忠明
田中 啓一 須田 眞理子
大塚 啓司 関根 三善
大埜 展男 高坂 麻由子
大垣 昌資 竹内 あゆみ
岡村 兵衛 田中 美貴子
岡本 直毅 田山 智広
中村 康恭 都築 豊
奥瀬 篤 中村 元嗣
奥田 桂子 中村 幸雄
小澤 俊文 井上 洋一
尾島 夕里 西田 悦子
小田切 明子 西田 尚弘
皆瀬 修 *西本 直之
加香 雄一 根本 暢明
加藤 政晴 根本 秀太郎
加藤 由美子 *野島 尚人
兼子 伸彦 *濱田 美奈子
菊池 伸治 福田 昭夫
菊池 木鋪 洋一 藤田 栄
北川 万裕 藤田 栄
木下 盛弘 藤野 盾臣
*久保 光司 藤森 朗
久保田 一穂 星 直樹
堀江 智巳
松下 一彦
三橋 正典
村田 拓郎
森本 由希

森山 健治
安江 仁孝
下 真平
穀下 喜義
山中 喜みお
鈴木

横尾 順
*吉田 公彦
吉富 真紀子
吉原 美紗恵
和田 真理
匿名 23名

フレンズ1

■あ 江藤 祐子
相模 浩 大川 剛
青野 寛道 大島 剛志
赤坂 佳子 大島 克寛
赤崎 述子 大嶋 孝義
赤塚 節恵 大嶋 初彦
秋元 淳志 大島 康彦
朝倉 淳志 大島 裕美子
浅里 文男 *大須賀 徳也
安達 郁夫 大塚 賢久
阿部 靖彦 大友 英司
生田 裕一 大貫 智弘
池田 利昭 大貫 由香
池田 弘毅 大畑 喜信
石川 由紀 大堀 慶裕
石渡 政徳 大森 幸吉
大八木 泰宏 大八木 節子
伊藤 勉 岡田 浩一
伊藤 晴博 岡田 政顕
岡田 正道
伊藤 宗功 岡田 美穂
伊藤 貴雄 岡野 明徳
*稲垣 貴代 岡本 勝利
稲葉 順一 小川 幾子
*井上 聖恵 小川 徹
康子 冲 知子
正 和歌子
*井上 邦男 奥泉 亮子
美知子 奥田 由美子
今村 知子 奥貫 壮史
今村 裕子 奥村 克彦
今村 淳子 小倉 茂
岩瀬 淳子 小名 雅恵
岩瀬 順子 小野 信也
*岩村 亮 小野 英樹
上田 洋子 小野塚 純二
白居 正昭 ■か
内海 重男 甲斐 幸士
内田 誠 海藤 慶子
宇野 正芳 香甫 大樹
梅里 拓志 *角山 美知子
梅崎 耕司 方波見 和雄
梅原 秀元 葛城 伸一
梅本 千枝子 *加藤 聖隆
洋子

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございます(12月5日現在。五十音順)。

- | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|--|
| 加藤 里加子
*川上 真理
川口 善行
川名 康一
川野 安子
川之上 裕美子
菅野 広和
菅野 雄平
岸本 裕子
北野 雅子
木村 眞
木下 亮平
木村 好一
*木村 強
木村 達央
木村 富士子
清田 一正
久保田 伸一
倉谷 宏樹
栗原 潔
小石 恵子
小糸 健治
好士崎 穂子
河野 太
国府 里美
国府 保周
小寺 駿乃祐
小西 淳
小沼 敏四郎
小林 恭二
小林 光一
小林 宏州
小林 浩
小林 優大
小森 グミオ
小山 智代子
近内 光一
近内 友史子
*後藤 敏秋
後藤 美穂
後藤田 裕二 | *加藤 里加子
川上 真理
川口 善行
川名 康一
川野 安子
川之上 裕美子
菅野 広和
菅野 雄平
岸本 裕子
北野 雅子
木村 眞
木下 亮平
木村 好一
*木村 強
木村 達央
木村 富士子
清田 一正
久保田 伸一
倉谷 宏樹
栗原 潔
小石 恵子
小糸 健治
好士崎 穂子
河野 太
国府 里美
国府 保周
小寺 駿乃祐
小西 淳
小沼 敏四郎
小林 恭二
小林 光一
小林 宏州
小林 浩
小林 優大
小森 グミオ
小山 智代子
近内 光一
近内 友史子
*後藤 敏秋
後藤 美穂
後藤田 裕二 | 佐々木 基
佐藤 幸子
佐藤 大助
佐藤 孜
佐藤 深雪
佐藤 美和子
佐藤 由紀子
重成 瞳
俊郎 宗太
穴戸 一朗
篠田 俊也
柴橋 朋子
波川 宏明
嶋谷 重夫
清水 志村
下田 和代
庄司 一彦
白石 大
進藤 ひろみ
杉山 啓次
杉山 慎二
鈴木 啓介
鈴木 孝治
鈴木 隆之
*鈴木 智子
鈴木 美和
鈴木 幸恵
清水 達
清木 穂名美
関 翔太
関 洋
関口 あずみ | 田島 遼太郎
多田 泰三
田中 敬子
*田永 恒美
*田端 鈴恵
田淵 泰弘
玉井 正浩
玉井 晴久
千田 給里
*千葉 絵里
塚田 和男
築館 玲子
柴館 洋一
坪井 敬一
鶴岡 治男
速山 淳夫
遠山 明史
登原 泰雄
富川 博之
富田 祐祐
友近 祥悟
萩森 峯生
鳥居 順子
鳥居 夕紀夫 | 原 ひとみ
原田 慶子
*原田 容子
春川 京子
坂東 泰子
肥後 恵子
榎谷 亜樹
平田 行雄
廣岡 真由美
廣瀬 泰文
廣中 直行
深沢 茂美
福嶋 英和
藤田 鋼一
藤田 透
藤原 正之
古市 文子
古川 雄二
古澤 郁子
古屋 美樹
宝徳 清敬
細川 光樹
堀 浩史
堀川 由利子
堀川 信子
本多 真世 | 柳沼 美智子
*安永 優子
山縣 裕児
山岸 男一郎
山崎 純代
山崎 由美子
山田 美生子
山本 恵子
山本 博
湯川 俊明
吉江 健志
吉岡 真紀子
吉富 美紀 | 吉見 徹
吉見 幸子
米田 徹
米田 光
米田 恵子
*米村 克幸
米村 幸幸
*わ 渡邊 朋子
C.S. 津
N.S. 津
T.Saito 津
匿名 157 名 |
|--|--|---|---|---|--|--|

遺贈・相続ご寄付(敬称略)

- 竹内 容子 牧野 季子
齋藤公治 岡橋 純男
メモリアル基金 岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しませんが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただきます。当日主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱いのみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

- 都築 豊 松永 勝宏
坪井 洋一 森山 雅一郎
東 由美子 匿名 13 名
藤井 照子 (敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へお電話でお願いいたします。



<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい		フレンズ会員			
	法人会員	サークル 会員	フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1	
主催公演へご案内	○	○				
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○		
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○	
ご芳名掲載	○	○	○	○	○	
主催公演チケット先行予約*1	○	○	○	○	○	
公演チケットをご優待価格にてご案内*2	○	○	○	○	○	

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュゼザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合：「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分¹について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます²。

*1但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

東京交響楽団の新時代を担う若きマエストロ、

ロレンツォ・ ヴィオッティ

文 山田治生(音楽評論家)

ロレンツォ・ヴィオッティは、著名な指揮者であるマルチェッロ・ヴィオッティとフランス出身のヴァイオリニストである母の間に、1990年、スイスのローザンヌで生まれた。そして、フランスのリヨンで音楽を学んだ。しかし、2005年、父マルチェッロが亡

くなってしまう。ロレンツォはまだ14歳だった。その後、ウィーンでゲオルク・マルクに指揮を学ぶ。ヴァイマルのリスト音楽院ではニコラ・パスケに師事した。音楽一家に育ったロレンツォは、ロックやジャズにも親しみ、姉のマリーナ・ヴィオッティのバンドでドラマーも務めたという。2012年、早くもカダケス国際指揮者コンクールに優勝。そして、24歳の2014年7月に、体調不良のクシシュトフ・ウルバンスキの代役で、東京交響楽団を指揮した。これが、東響デビューであるどころか、プロの指揮者としてのデビューであった。ロレンツォ・ヴィオッティと東響との特別な関係はこのときに生まれたといえる。

その後、ヴィオッティのキャリアはジャンプ・アップする。2015年にはザルツブルク音楽祭でネスレ・ヤング・コンダクター賞を受賞。2018年にはポルトガルのグルベンキアン管弦楽団の首席指揮者に就任した。2020年1月にスカラ座でグノーの「ロメオとジュリエット」を指揮。同年2月にはベルリン・フィルにデビューし、マーラーの交響曲第3番を振った。2024年6月にウィーン・フィルにデビュー。また、2021年から2025年までオランダ国立歌劇場の首席指揮者を務めた。

筆者がロレンツォ・ヴィオッティの指揮に初めて接したのは、2018年7月の新国立劇場の「トスカ」(オーケストラは東京フィル)であった。聴かせどころをじっくりと描き、響きや音色を味わう。そして進むべきところは先に行く。そういう指揮が印象に残っている。同月の東京フィルとのドビュッシー&ラヴェル・プログラムでの丁寧な音楽作りはまだ28歳とは思えない老成を感じた。

東響との共演では、まず、2019年1月のヴェルディの「レクイエム」を思い出す。冒頭の無音と有音の境目から立ち上がる合唱に、ただものではないと感じた。全体としては弱音や音色へのこだわりに感心した。2023年9月のベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」とR.シュトラウスの「英雄の生涯」は、「英雄プログラム」ではあったが、ヴィオッティは力づくで強音を出したりはせず、オーケストラを実に美しく鳴らしていた。ベートーヴェンの「英雄」はスピーディでスマートでさえあった。

マルチェッロ・ヴィオッティは晩年、ヴェネツィアのフェニーチェ歌劇場の音楽監督を務めるなど、オペラ指揮者として知られていたが、実際は、ドイツ音楽やフランス音楽も得意とし、近現代音楽にも取り組んだ幅広いレパートリーの持ち主であった。ロレンツォもオペラでの活躍が顕著であるが、実際は、多様なレパートリーを手掛けている。ロレンツォは、前述したように、イタリア系スイス人とフランス人の両親の間にスイスで生まれ、フランスで育ち、オーストリアやドイツで学んだバックグラウンドを持つ。学生時代には、ピアノ、声楽、指揮を学ぶだけでなく、打楽器奏者としても演奏活動を行う。そして、クラシックだけでなく、ロックやジャズにも取り組んだ。そういう幅広い音楽性は、現在の彼の指揮にも活かされている。東響とこれまで取り上げた作曲家だけでも、チャイコフスキー、ベートーヴェン、R.シュトラウス、ラヴェル、ヴェルディ、ブラームス（シェーンベルク）、ドヴォルザークなど実に多彩である。

さて、東響音楽監督としての最初のシーズンにヴィオッティは、ベートーヴェ

ンの交響曲第1番、同第9番、マーラーの交響曲第1番「巨人」、R.シュトラウスの「4つの最後の歌」、ラヴェルの「ダフニスとクロエ」、ブラームスの交響曲第3番、ドヴォルザークの交響曲第7番、モーツァルトの交響曲第38番「プラハ」、シューベルトの交響曲第2番、フランツ・シュミットのオラトリオ「7つの封印の書」、ショスタコーヴィチの交響曲第10番など幅広いレパートリーを披露する。

まずは、マーラーの青春の交響曲である「巨人」が本当に楽しみである。ベートーヴェンは、第3番と第4番に引き続いて、第1番もかなり期待できる。R.シュトラウスではオーケストラを美しく鳴らしてくれるだろう。フランスで育ったヴィオッティにとって、ラヴェルは得意とするレパートリー。「ダフニスとクロエ」に注目である。ウィーンゆかりのモーツァルト、シューベルト、ブラームスも楽しみ。ドヴォルザークの第7番はウィーン・フィル・デビューで指揮した曲。ロシア音楽は初共演でチャイコフスキーの交響曲第4番を取り上げたが、東響が日本初演を手掛け、歴代指揮者と取り組んできたショスタコーヴィチの第10番をどう指揮するのか興味津々である。そして、初シーズンの目玉はシュミットのオラトリオ「7つの封印の書」であろう。声楽入りの大作でヴィオッティの本領が発揮されるに違いない。

世界最高峰のオーケストラや一流の歌劇場からオファーの絶えない若きマエストロが、東京交響楽団とどんなレパートリーでどんな演奏を繰り広げ、どんな時代を築いていくのか、楽しみでならない。

Meet the Musicians

楽団員紹介

憧れのオーケストラで、表現の色彩を豊かにするハーピスト

渡辺 沙羅

WATANABE Sara

[ハープ奏者]2025年1月入団

趣味:美味しいものを探し、おいしいコーヒーで締める



©N. Ikegami

楽器を始めたきっかけ

2歳のときに近所のヤマハ音楽教室(リトミック)に通い始めたことが、音楽との最初の出会でした。教室に隣接する楽器店のショーウィンドウにサウルハープ(大人の膝の上に乗るサイズのハープ)が置かれていて、母の勧めもあり、少し体が大きくなった4歳頃からハープを習い始めました。

父の転勤で引っ越しをした際一度ハープから離れましたが、当時の先生からハープを続けてみてはどう?という電話を頂いたきっかけで小学2年生の頃に別の教室で再びハープを習い始めました。

オーケストラへの憧れ

高校までは普通校に通っていましたが、ハープを続けたい、という思いから桐朋学園大学に進学しました。それまで楽器とは一対一で向き合ってきたが、大学在学中に経験した室内楽やオーケストラを通して、アンサンブルの楽しさを実感しました。さまざまな価値観を持つ奏者たちが一つのアンサンブルになり、同じ音楽をつくっていく、その過程も結果も含め、一人では得られないオーケストラならではの魅力に強く惹かれました。プロの演奏に触れたとき、この魅力に一層憧れが募り、「オーケストラに入りたい」という思いが強くなっていきました。

耳と心を育み音楽をしたい

東京交響楽団に入団してからこれまで毎度殆ど初めての作品に試行錯誤する日々ですが、東響の温かくひたむきに音楽づくりをする姿勢に、貢献することができるよう、自身の成長を怠らず、演奏していきたいと思っています。

2026/27シーズンで注目する公演は

ラヴェルの作品は、ハープパートの描かれ方が美しく、オーケストレーションも含めてとても好きです。2026年5月23日の川崎定期演奏会第105回で、ヴィオッティ新音楽監督が取り上げるラヴェル《ダフニスとクロエ》での演奏が楽しみです。



小学2年生、ハープ教室での様子

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

退 団

2026年2月28日付

辻田薫り

TSUJITA Kaori [第2ヴァイオリン奏者]

2021年に入団し、5年にわたり活躍いたしました。



© N Ikegami

来年のニューイヤーコンサートは…

2027年

1/9 (土) 14:00 サントリーホール

指揮: 下野竜也
ピアノ: 小山実稚恵

スッパ: 「ウィーンの朝・昼・晩」序曲
シヨパン: ピアノ協奏曲 第1番
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」

SSシングル¥9,000 SSペア¥16,000 S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000

東響会員先行発売: 7/8(水) オンライン先行発売7/10(金) 一般発売7/16(木)



© Tomoko Hidaki

GWは家族で楽しめるオーケストラコンサートへ

キッズプログラム 0歳からのオーケストラ ~ズーラシアンプラスmeets東京交響楽団~

2026年

4/29 (水・祝) 11:00 / 14:30 (1日2回公演)
ミュゼ川崎シンフォニーホール

指揮: 水戸博之
金管五重奏: ズーラシアンプラス

アンダーソン:
トランペット吹きの日 ほか

大人¥3,500 こども(中学生以下)¥1,500

東響会員先行発売: 2/4(水) オンライン先行発売2/9(月) 一般発売2/12(木)



アンケートご協力をお願い

本日の演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。今後の公演運営の参考とさせていただきます。アンケートへのご協力をお願い申し上げます。



NEXT PROGRAM

4/26 第739回 定期演奏会
(日) 14:00 サントリーホール

指揮: パプロ・エラス=カサド

シューベルト: 交響曲 第7番「未完成」
ブルックナー: 交響曲 第6番

S¥8,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00~18:00/土日祝休)



6/28 第146回 新潟定期演奏会
(日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

指揮: 沖澤のどか
カウンターテナー: 藤木大地
合唱: にいがた東響コーラス

デュカス: 交響詩「魔法使いの弟子」
グノー: 歌劇「ファウスト」から
“ワルツ” “バレエ音楽”

メンデルスゾーン:
序曲「静かな海と楽しい航海」
ブラームス: 運命の女神の歌
ブラームス: アルト・ラプソディ
S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500
C¥3,000 D¥2,000



りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00~19:00/休館日除く) ※4月1日から営業時間が変更になります。

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」「10歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ59都市83公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴。2022年12月には史上最多45台カメラを用いた《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。特に、2022年よりスタートした「R. シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。

桂冠指揮者にユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人、永久名誉音楽監督に秋山和慶を擁する。

2026年4月より第4代音楽監督としてロレンツォ・ヴィオッチィが就任する。

The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. Elektra in Concert Style(2023) won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of Salome in Concert Style(2022) on Ongaku no Tomo magazine. Der Rosenkavalier in Concert Style (2024) concluded the finale of R. Strauss project with a great acclaim. They won the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 83 concerts in 59 cities since 1976. Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 as Toho Symphony Orchestra, and changed its name to Tokyo Symphony Orchestra in April 1951, and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

Mr. Viotti will become the 4th Music Director from April 2026.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
【TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION】
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE
Symphony

Symphony 2026年(令和8年)1&3月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト